

留学生を受け入れる環境 づくりが、人材不足の 打開策

株式会社 プロスパー

チャンティ
トゥティンさん

出身大学：岐阜協立大学
経営学部卒業
出身国：ベトナム
在日期間：6年半
担当業務：原価計算や請求書類の発行



仕事を体験できる場を増やすことが、 留学生の興味を引き出す

私は元々、映画・ドラマ、ドラえもんやコナン等のアニメをみて、日本文化に興味を持つようになりました。親しい友人がすでに日本に留学していたこともあり、日本での留学を目指して来日しました。その後、友人の勧めもあって岐阜協立大学で学ぶこととなり、日々、授業や日本語の勉強、アルバイトと忙しく充実した生活を過ごす中で、将来に向けて自分のやりたいことを探していました。

アルバイトでは、日本人とコミュニケーションがとれる居酒屋や語学を生かした通訳の仕事に就いてきました。日本人と触れ合いながら働くことができるという喜びはありましたが、アルバイト後は心も体もぐったりするほど疲れていたんです。この仕事は、自分に合っていないのかな？と感じていました。そんな中、授業の一環で2週間、インターシップに行くことになり、そこでお世話になったのが、株式会社プロスパーでした。その期間に事務の仕事に携わることができ、具体的に業務をイメージできました。

就職活動では、これまでのアルバイトで感じたこと、インターシップの経験を踏まえ、株式会社プロスパーなら自分のやりたいことができると考え、応募しました。そして現在、ここに居ることができています。

入社後は、日本語のコミュニケーションが不安でした。とにかく勉強しましたし、今でも仕事が終わって帰宅後、1時間程度は勉強するようにしています。業務自体は上司やまわりのスタッフがとても優しく、聞きやすい環境で問題なく進められています。そして、アルバイト時代のような、帰ってきてぐったりするようなこともありません。働きながら勉強を続け、“日本語能力検定1級”と“簿記3級”の取得が当面の目標ですね。



ティンさんの仕事に対する貪欲さとまじめさを 生かして、社内の変革リーダーに

(代表取締役 武山誠さん)

当社は、プラスチック加工製品の製造や看板・サインの企画、製造、施工を主とし、社内一貫体制による小ロット多品種の対応をしています。そのため、案件数・材料の種類は多岐にわたり、管理業務は経営にとって重要な役割です。しかし、材料すべてをシステム化することは難しく、どうしても人の手が必要となります。また、管理作業には正確さが求められ、一つ一つ丁寧に進めなければ、数字と実態が乖離する可能性もあります。入社いただいたティンさんは、人一倍の努力家でコツコツ頑張るタイプです。彼女の性格を踏まえ、材料の在庫管理や原価計算を担って頂いています。これらの管理作業は、社内改革が生まれるスタート地点だと考えています。しっかりお金の流れを把握してもらい、先頭になって社内改革を進めてもらいたいと期待しています。

当社にとって留学生の受入れは、ティンさんが初めてでした。当初は言葉の壁を心配していましたが、彼女の頑張りや職場の彼女をサポートする姿勢を見ているうちにその不安はなくなりました。真面目さと日本人が忘れていている仕事への熱意が彼女にはあり、職場の雰囲気がガラリと変わったのがよくわかりました。ティンさんの存在は、日本人スタッフの成長にも大きく影響しています。

これからも当社では、留学生の受入れを進めていきたいと考えています。中小企業こそ、性別や人種の区別を取り払って、多様なスタッフを大切な“人財”として大事にできる会社づくりをしていくべきだと思います。



株式会社 プロスパー
<https://www.prospers.co.jp/>

〒501-6209
岐阜県羽島市足近町直道594
tel : 058-392-1361
fax : 058-392-1145

事業内容
アクリル店舗装備品（陳列什器、サイン看板）、産業用機械用樹脂部品製造

設立年月日
1982年9月1日

資本金
2,800万円

従業員数
62名(男性35名、女性27名)

売上高
8.6億円(2020年7月期)

海外現地法人・関連工場
無

海外取引
無

外国人留学生採用実績
1名(女性1名) 国籍:ベトナム